

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	トイロ 本郷台		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2025年 12月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	61	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		~ 2025年 12月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 17
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者様に対して「問題を解決していきたい」「助けになりたい」と思い行動できるスタッフが多い	問題解決に対する創意工夫を常にしている、職員間で意見を出し合いながら支援に繋げている	より専門的な知識を身につけるために各種研修や、資格取得などに取り組みたいスタッフがいたら全力で支援していく
2	利用者様を預かるにあたり、安全管理に関する意識が強い	利用者様をお預かりしている時、児童1人になる瞬間を作らないように職員配置などは徹底している、ハサミなどの児童が使う危険物に関してルールを作って安全に運用できるようにしている	問題があった時、トラブルがあった時に同じミスを繰り返さないように情報共有を密にしている
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員間で各種情報の共有ができていない事がある	マンツーマンの児童対応中などすぐに情報共有できない事があり、時間が経って共有を失念してしまう事がある	メモや共有用の社内チャットなどを適切に使って抜け漏れをなくしていく
2	学校や他事業所など地域の児童福祉関連の施設との関わりが少ない	日々の運営において送迎以外で関わる機会がなく、関係性が構築できていない	トイロの活動で地域の催し物に参加するなど積極的に外部との関わりを持つ機会を作っていく
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 トイロ本郷台

公表日 2026年3月10日

回収数

利用児童数 61

23

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	1	0	3		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	4	1	2	支援が必要な子供の数に対して職員が少ないため、以前できていた外出プログラムが難しくなっていると思う、もっと職員を増やしてほしい	職員配置を工夫するなどして少人数でも安全に外出できるような取り組みを画策中です
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2	0	2		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	17	2	1	3	・窓がないことが以前から気になっている ・消毒はしていると思うが、壁紙やフロアマットなどに費用を使ってほしい	・構造上窓の設置は難しい、換気のための小窓を開けるなどの対策はしております ・マットの交換は適宜実施しています、壁紙も出来る範囲で修理していきます
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	22	1	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	1	0	0		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等サービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	2	0	2		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19	2	2	0		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	7	4	9		トイロの活動で地域の催し物に参加するなど積極的に外部との関わりを持つ機会を作っていきます
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	1	2		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	5	7	8		アンケート等で要望を募り、要望に応じて対応を増やしていきます
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	23	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	2	0	1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	1		
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	4	12	7		現在父母会等は行っていない、ニーズに応じて行う必要はあると感じております	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	2	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22	0	1	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	1	1	6		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	17	2	0	4		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	1	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18	2	0	3		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	トイロ本郷台		公表日		2026年3月10日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	17	0	適切に運用されている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	0	17	法令に則り人員配置している	限られた人員の中でいかに安全が確保できるか試行錯誤しながら支援しています
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	16	1	特性に応じた教室分けの実施、クールダウンのための部屋の設置などの配慮は成されている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	17	0	毎日清掃は実施しています、児童が使うぬいぐるみなどの布製品も定期的に洗濯しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	17	0	適切に運用されている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	14	3	日々の業務での振り返りの機会は設けている	職員によってPDCAサイクルの考え方に差があるため、仕組みとして共通の認識ができるやり方を考える
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	3	法令に則り評価表の公表は行なっている	職員への周知ができていなかったため、共有する機会を設ける
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	15	2	適宜聞き取りは行なっている	聞き取った内容を業務改善にまで繋げきれなかった、問題点には迅速に対応していく
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	17		現在第三者評価は行なっておりません
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	14	3	研修は定期的に行なわれています(職域や本人の選択によって機会の差はあります)	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	17	0	適切に運用されている	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	16	1	定期的にあセスメントの更新は行なっている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	14	3		職員によって情報の把握に差があるため、全体での情報共有・共通認識が持てるような仕組みを作っていく
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	3		職員によって情報の把握に差があるため、全体での情報共有・共通認識が持てるような仕組みを作っていく
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	17	0	適切に運用されている	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	17	0	適切に運用されている	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	1	適切に運用されている	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	12	5	固定化されないように定期的に新しいプログラムを取り入れるようにしている	新しいプログラムを取り入れるスパンを短くする
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	16	1	適切に運用されている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	17	0	適切に運用されている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	17	0	適切に運用されている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	1	適切に運用されている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	15	2	適切に運用されている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	16	1	適切に運用されている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	17	0	適切に運用されている	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	16	1	適切に運用されている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	15	2	適切に運用されている	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	17	0	適切に運用されている	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	16	1	適切に運用されている	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	16	1	適切に運用されている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	12	自社SVとの研修は定期的に行われている	地域の児童発達支援センターとの連携は取れていないため、協力を進めていく
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	16		現在放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会はないです
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	17		人員配置など事業所の都合を優先しているため、積極的な参加はしていない
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	17	0	適切に運用されている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	16		研修等は行っていない、ニーズに応じて行う必要はあると感じている
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	17	0	適切に運用されている	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	17	0	適切に運用されている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	17	0	適切に運用されている	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	17	0	適切に運用されている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	17		現在は父母会等を行っていない、ニーズに応じて行う必要はあると感じている
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	1	適切に運用されている	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	16	1	適切に運用されている	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	16	1	適切に運用されている	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	17	0	適切に運用されている	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	7		以前は夏祭りやハロウィンなど地域に開放するイベントもあった、現在は人員不足などの影響で行えない状態となっていますので、職員配置を工夫するなどして少人数でも安全に外出できるように取り組みを画策中です
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	14	3	各種対策マニュアルはファイリングされて誰でも閲覧できるようになっている	情報共有をしっかりと行い全員が把握できるようにしていく
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	15	2	BCPはファイリングされて誰でも閲覧できるようになっている	情報共有をしっかりと行い全員が把握できるようにしていく
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	17	0	適切に運用されている	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	17	0	適切に運用されている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	16	1	適切に運用されている	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	17	0	適切に運用されている	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	16	1		運用はしているが記入する職員によって内容にばらつきがあるのでマニュアルを定めて運用する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	17	0	適切に運用されている	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	17	0	適切に運用されている		